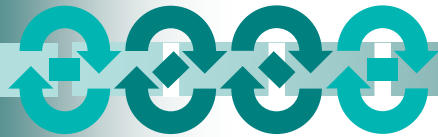


EASEプロジェクトの 現状



プロジェクトの概要

e-Society:基盤ソフトウェアの総合開発

- 15年度予算における科学技術振興費
35,916億円(前年度35,444):472億円増
- ライフサイエンス、情報通信、環境、エネルギー、
ナノテクノロジー・材料、製造技術、社会基盤、
フロンティアの各分野
- 情報通信分野の施策
 - ◆ ユビキタスネットワークの研究開発(総) 25億(新)
 - ◆ e-Society基盤ソフトウェアの総合開発(文) 12億(新)
 - ◆ 戦略的情報通信研究開発推進制度(総) 25億(10億増)
 - ◆ 超高速コンピュータ網形成(文) 20億(新)
 - ◆ ビジネスグリッドコンピューティング(経) 7億(新)

テーマ一覧

高い生産性を持つ高信頼ソフトウェア作成技術の開発(代表 片山卓也)

片山卓也(北陸先端大) 湯浅太一(京都大) 中島達夫(早稲田大)	高信頼組込みソフトウェア構築技術
石川裕(東京大)	次世代高性能コンピュータシステム上の高信頼ソフトウェアシステムの開発支援技術
米澤明憲(東京大) 大堀淳(北陸先端大)	プログラム自動解析に基づく高信頼ソフトウェアシステムの構築技術
鳥居宏次(奈良先端大) 井上克郎(大阪大) 松本健一(奈良先端大)	データ収集に基づくソフトウェア開発支援システム
武市正人(東京大)	高信頼構造化文書変換技術
阿草清滋(名古屋大) 鰐坂恒夫(和歌山大)	高信頼WebWareの生成技術

情報の高信頼蓄積・検索技術の開発(代表 村岡洋一)

喜連川優(東京大)	先進的なストレージ技術およびWeb解析技術
村岡洋一(早稲田大)	インターネット上の知識集約を可能にするプラットフォーム構築技術
鹿野清宏(奈良先端大) 河原 達也(京都大) 猿渡 洋(奈良先端大) 武田 一哉(名古屋大) 河原 英紀(和歌山大学)	ユーザ負担のない話者・環境適応性を実現する自然な音声対話処理技術



「データ収集に基づくソフトウェア開発支援システム」

EASEプロジェクト

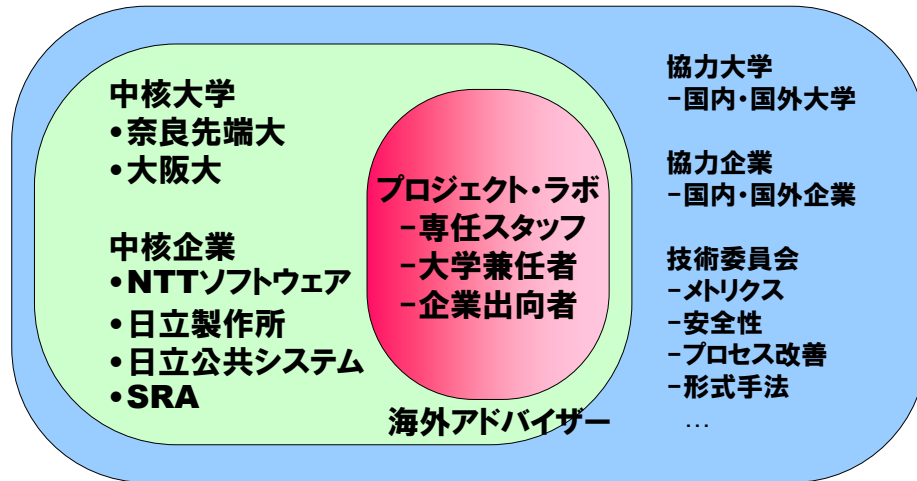
1. エンピリカル環境の提案と構築
2. エンピリカル環境の配布・実プロジェクトへの適用
3. エンピリカルデータやその分析による知見の蓄積
4. **適用先の組織の生産性、品質の向上**



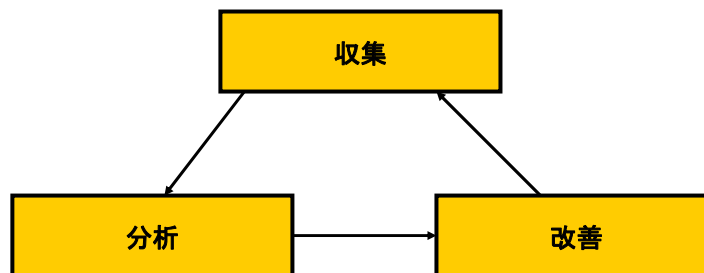
プロジェクトの推進方法： ラボ方式による技術移転



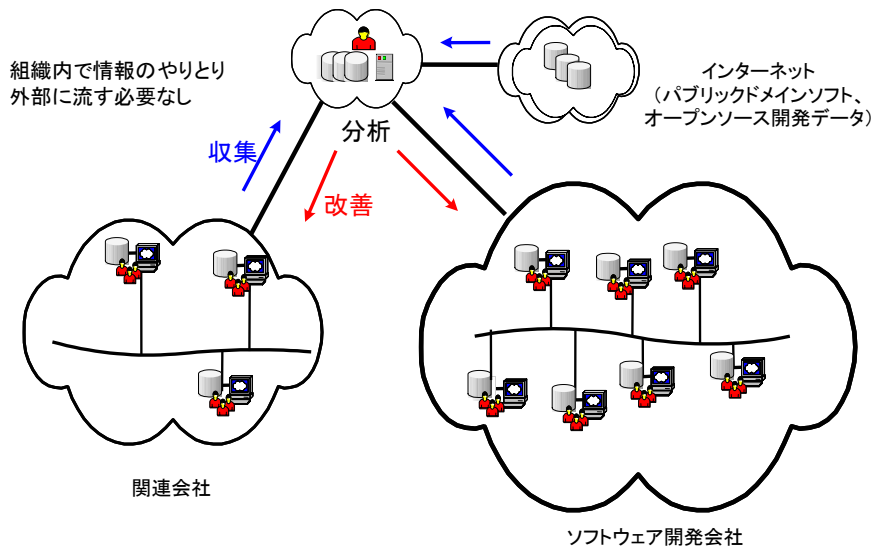
プロジェクトの構成



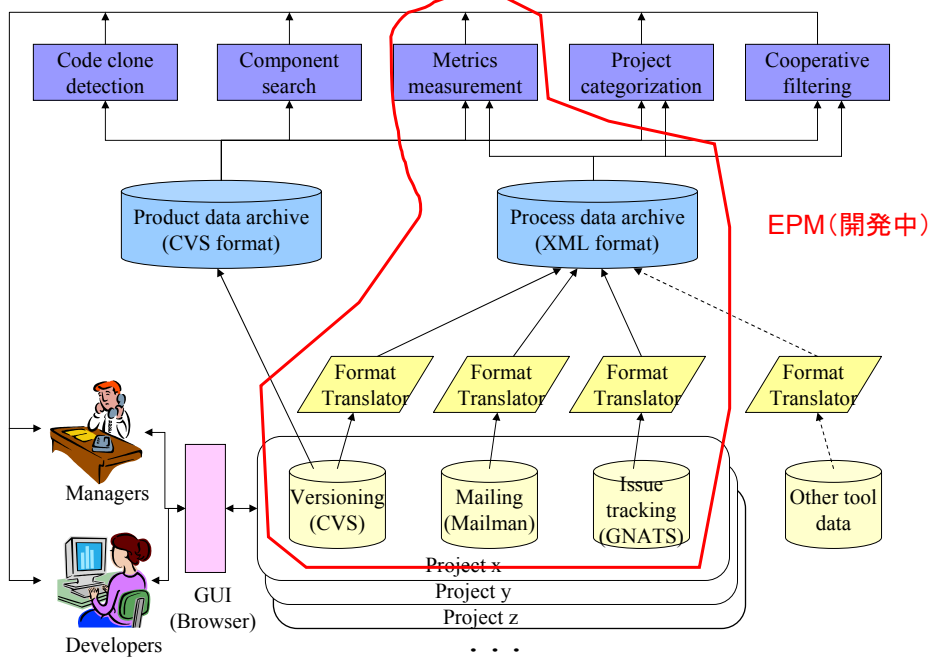
エンピリカルソフトウェア工学の 3つのフェーズ

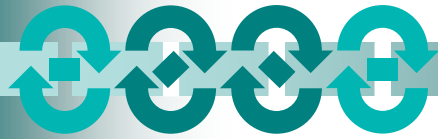


エンピリカル環境の概念



エンピリカル環境のアーキテクチャ





プロジェクトの現状



時系列イベント

- ラボ開設 4月1日
- キックオフ集会 6月19日
- 開発者 研究室配属 6~7月
- EPM作成開始 8月ごろ
- EASEフォーラム 11月7日, 8日
- e-Societyシンポ 12月1日
- EPM研究発表 SIGSS研究会 3月15日
- JAXAクリティカルWS 3月31日
- ICSE MSR-WS 5月
- ソフトウェアシンポ 6月
- アニュアルレポート, パンフレット, パネル, HP 3月末
- α版ほぼ完成 4月



開発の現状

- **α 版**
 - ◆ CVS等のツールを前提にデータ収集
 - ◆ メトリクスデータをグラフ表示
 - プロジェクト単位
 - 定型メトリクス表示
 - SQLコマンド記述可能
 - ◆ デモンストレーション
 - ◆ ドキュメント(マニュアル, FAQ)
 - ◆ デモンストレーション用1CDシステム



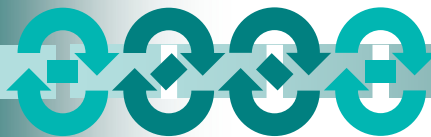
EPMの適用について

- **フォーラムアンケート**
 - ◆ 120社(57%)が導入したい意思
- **EPMの適用に興味を持つ企業との会合(本日)**
- **適用会社の担当者に1週間程度の教育**
 - ◆ 5月10日~, 17日~, 24日~
 - ◆ 概要説明, ソフトウェア品質と管理の考え方, EPMの環境設定法・インストール法・使い方と改造法, 全体Q&A, etc.
- **研究員と共同で運用やデータ分析**



ライセンス関係

- 奈良先端大, 知財本部
- 奈良先端大 ⇔ 適用会社
 - α版: 個別許諾 (資料参照)
- 将来的にはオープンソース化の方向で検討中

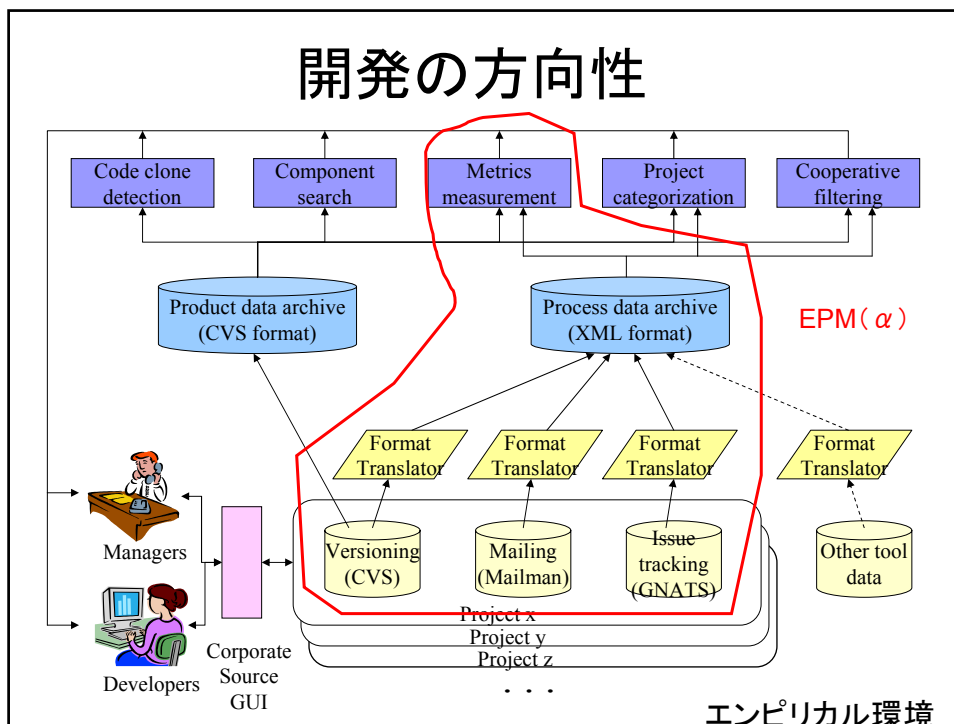


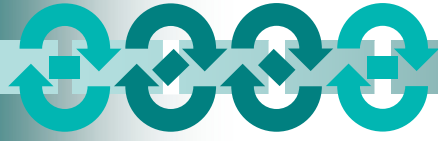
今後の方針

今年度の計画の概略

- (1) EPM α 版の企業ソフトウェア開発プロジェクトへの適用
- (2) EPM β 版の開発
プラグイン化, メトリクスの充実, 複数プロジェクト間メトリクス
- (3) ソフトウェア開発プロジェクトの比較・分類を行う解析ツール, 協調フィルタ, クローン検出やソフトウェア資産検索ツール等のEPMへの導入を研究
- (4) 研究会の立ち上げ, ニュースレターの発刊

開発の方向性





EPMの デモンストレーション